

令和4年12月9日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

総務常任委員長 谷口 翔馬

委員会調査報告書

本委員会の調査事件について調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和4年11月22日（火）

2. 場 所

八頭郡智頭町大字智頭2081番地4 智頭町産業会館 会議室

3. 内 容

智頭町商工会との意見交換会

- (1) 町内商工業の現状等について
- (2) 智頭町商工会の今後の展開、要望等について
- (3) その他

4. 目 的

新型コロナウイルス感染症による町内商工業の現状、智頭町商工会の今後の展開・要望等について意見交換を行い、町内商工業発展のための今後の委員会活動に資する。

5. 派遣委員

全委員6名

6. 所感等

商工会の事務局の方より、商工会の現状・新型コロナの影響による町内業者の現状の説明があり、その後商工会会長を含め6名の会員の方と、「現状と今後の展開、要望等について」意見交換が行われた。

○商工会の現状について

町内の商工業者数と会員数は過去9年間のデータによると減少傾向ではあるが、ここ数年

は下げ幅がやや軟化している。

○新型コロナの影響および環境変化による町内業者の状況と支援策について

新型コロナウイルス感染症について、影響は軟化傾向が見られるが、コロナ前と比較し、業績の復調にはかなりの時間を要すると思われる。本町が行った、「智頭町コロナに負けるな中小企業支援交付金」が第3弾まで交付されたことや「杉小判」が継続して配布されていることなど町内事業者からは評価する声が多かった。杉小判に関しては、飲食に紐づけできないか、などの提案もあった。

しかし、新型コロナウイルス感染症は依然収束の見通しがたたないことに加え、円安、エネルギー関連経費高騰による全般的な物価高騰や最低賃金引上げなど事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあり、ウィズコロナによりライフスタイルの変化に対応した事業継続、展開が求められてくる中で、2つの要望があげられた。

①物価高騰対策支援

②町内事業所の利用を促進する支援策

意見交換を通して、コロナ禍に加え全般的な物価高騰により経費全般が上がり価格転嫁も思うように出来ない状況であることから、倒産や事業継続をあきらめて廃業を決断とならないように、国や県の各種施策のタイムリーな情報提供と有効活用、本町独自の持続的な支援策が急がれる。本町の事業者は、町ゼミやイベントなど町づくりに熱心であり、町内事業者が元気になれば、本町も元気になると思われるので、継続した意見交換を続け、共に助け合いをしていく必要性を感じた。